

アジア・ハイ・イールド債券 ファンド（毎月分配型） 成長通貨コース

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年11月14日から2021年8月10日まで	
運用方針	<p>①主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。</p> <p>②当ファンドは、原則、相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる6通貨の為替取引を行い、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）の獲得を目指します。</p>	
主要投資対象	アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）成長通貨コース	投資信託証券
	日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
主な組入制限	アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）成長通貨コース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブの直接利用は行いません。 株式への直接投資は行いません。 同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）	有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。
	日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）	有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

第58期（決算日	2016年9月12日）
第59期（決算日	2016年10月11日）
第60期（決算日	2016年11月10日）
第61期（決算日	2016年12月12日）
第62期（決算日	2017年1月10日）
第63期（決算日	2017年2月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）成長通貨コース」はこのたび第63期決算を行いましたので、第58期～第63期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の正式名称については後掲「■主要投資対象の投資信託証券の概要」をご覧ください。

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			騰落率	投資信託組入比率	純資産総額
		(分配落)	税金配	込金			
第7作成期	34期（2014年9月10日）	円 10,397		円 220	% 5.4	% 96.1	百万円 2,553
	35期（2014年10月10日）	9,967		220	△2.0	95.9	2,718
	36期（2014年11月10日）	10,203		220	4.6	95.9	2,641
	37期（2014年12月10日）	10,193		220	2.1	95.8	2,809
	38期（2015年1月13日）	9,530		220	△4.3	95.8	2,711
	39期（2015年2月10日）	9,232		220	△0.8	93.0	2,817
第8作成期	40期（2015年3月10日）	9,011		220	△0.0	93.4	2,784
	41期（2015年4月10日）	8,906		220	1.3	94.7	2,863
	42期（2015年5月11日）	8,689		220	0.0	92.0	2,911
	43期（2015年6月10日）	8,660		220	2.2	96.7	2,906
	44期（2015年7月10日）	8,203		220	△2.7	95.0	2,738
	45期（2015年8月10日）	8,115		220	1.6	95.4	2,677
第9作成期	46期（2015年9月10日）	7,247		150	△8.8	96.1	2,321
	47期（2015年10月13日）	7,448		150	4.8	95.5	2,217
	48期（2015年11月10日）	7,434		150	1.8	95.9	2,148
	49期（2015年12月10日）	7,255		150	△0.4	96.2	2,029
	50期（2016年1月12日）	6,571		150	△7.4	96.5	1,785
	51期（2016年2月10日）	6,560		150	2.1	95.9	1,765
第10作成期	52期（2016年3月10日）	6,518		150	1.6	95.6	1,718
	53期（2016年4月11日）	6,414		80	△0.4	95.0	1,674
	54期（2016年5月10日）	6,335		80	0.0	97.0	1,462
	55期（2016年6月10日）	6,380		80	2.0	96.9	1,390
	56期（2016年7月11日）	6,108		80	△3.0	97.5	1,278
	57期（2016年8月10日）	6,348		80	5.2	98.5	1,278
第11作成期	58期（2016年9月12日）	6,272		80	0.1	97.0	1,244
	59期（2016年10月11日）	6,346		80	2.5	98.3	1,239
	60期（2016年11月10日）	6,295		80	0.5	96.8	1,160
	61期（2016年12月12日）	6,658		80	7.0	97.1	1,196
	62期（2017年1月10日）	6,676		80	1.5	98.8	1,109
	63期（2017年2月10日）	6,617		80	0.3	96.6	1,100

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 投資信託証券組入比率は日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドの組入比率。

(注4) 当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載していません。

■第58期～第63期の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 率
			騰 落 率	率	
第58期	(期 首) 2016年 8月10日	円	6,348	%	%
	8月末		6,299	△0.8	98.5
	(期 末) 2016年 9月12日		6,352	0.1	97.7
第59期	(期 首) 2016年 9月12日		6,272	—	97.0
	9月末		6,295	0.4	97.0
	(期 末) 2016年10月11日		6,426	2.5	98.4
第60期	(期 首) 2016年10月11日		6,346	—	98.3
	10月末		6,454	1.7	98.3
	(期 末) 2016年11月10日		6,375	0.5	98.1
第61期	(期 首) 2016年11月10日		6,295	—	96.8
	11月末		6,530	3.7	96.8
	(期 末) 2016年12月12日		6,738	7.0	98.3
第62期	(期 首) 2016年12月12日		6,658	—	97.1
	12月末		6,735	1.2	97.1
	(期 末) 2017年 1月10日		6,756	1.5	98.3
第63期	(期 首) 2017年 1月10日		6,676	—	98.8
	1月末		6,673	△0.0	98.8
	(期 末) 2017年 2月10日		6,697	0.3	98.5

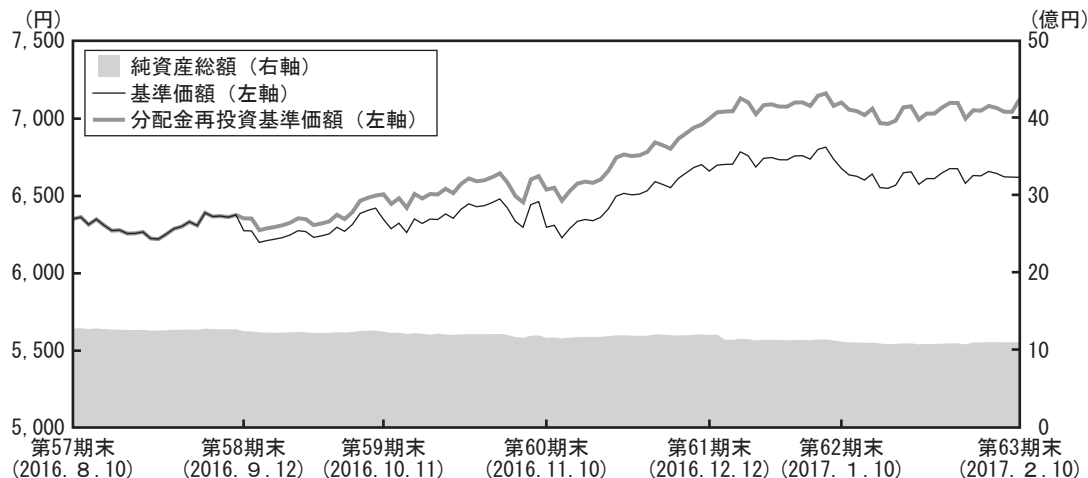
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 投資信託証券組入比率は日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドの組入比率。

(注3) 当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

■ 基準価額の推移



第58期首：6,348円

第63期末：6,617円（期中分配金合計480円）

騰落率：12.2%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2016年8月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」は、債券部分、為替部分ともにプラスに寄与し、分配金再投資基準価額の騰落率はプラスとなりました。

■投資環境

当期のアジア・ハイ・イールド債市場は上昇しました。

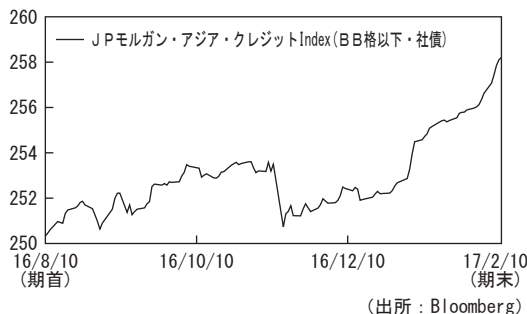
米国や欧州など主要国の国債利回りが低水準で推移するなか、アジア・ハイ・イールド債市場は期初から堅調に推移しました。11月の米国大統領選挙では、事前予想に反してトランプ氏が勝利し、同氏の掲げる財政刺激策への期待やインフレ観測が高まり、米国国債が急落するなか、アジア・ハイ・イールド債市場も急落する展開となりました。1月に入ると、アジア・ハイ・イールド債市場への旺盛な投資需要を背景に再び上昇に転じ、期末まで上昇基調での推移となりました。

当期の為替市場は、11月の米国大統領選挙の結果を受けて米国金利が大きく上昇し、米ドルが対円で上昇するなか、新興国通貨は概ね対円で上昇する展開となりました。

高金利通貨については、引き続きトルコの内政不安や治安リスクへの懸念等からトルコリラは対円で下落しましたが、ブラジルレアルと南アフリカランドは対円で上昇しました。

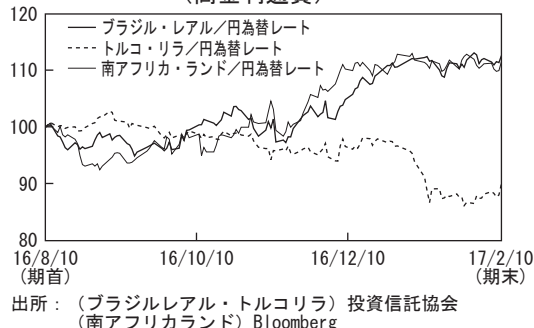
アジア通貨については、インドネシアルピア、インドルピー、オーストラリアドルはいずれも対円で上昇しました。

市況の推移

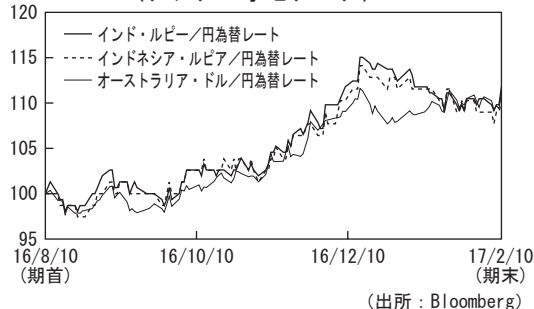


為替レートの推移

(高金利通貨)



(アジア・オセアニア)



(注1) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

(注2) 為替レートは期首を100として指数化しております。

■当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を概ね均等に維持しました。

（日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3））

アジア・ハイ・イールド債券利回りが上昇（価格は下落）した一方、クーポン収入等が貢献し、債券部分はプラスに寄与しました。

トルコリラが下落したものの、ブラジルリアルと南アフリカランドが対円で上昇したことから、為替部分はプラスに寄与しました。

（日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4））

アジア・ハイ・イールド債券利回りが上昇（価格は下落）した一方、クーポン収入等が貢献し、債券部分はプラスに寄与しました。

インドネシアルピア、インドルピー、オーストラリアドルがいずれも対円で上昇したことから、為替部分はプラスに寄与しました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンドの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、当該投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、合計480円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

<分配原資の内訳>

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
	2016年8月11日 ～2016年9月12日	2016年9月13日 ～2016年10月11日	2016年10月12日 ～2016年11月10日	2016年11月11日 ～2016年12月12日	2016年12月13日 ～2017年1月10日	2017年1月11日 ～2017年2月10日
当期分配金	80	80	80	80	80	80
(対基準価額比率)	1.26%	1.24%	1.25%	1.19%	1.18%	1.19%
当期の収益	80	80	80	80	80	80
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	7,069	7,086	7,093	7,104	7,113	7,120

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託特有の会計処理により、「翌期繰越分配対象額」が基準価額を上回っている場合がありますが、実際に基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

■今後の運用方針

(アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 成長通貨コース)

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を概ね均等に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

(日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド)

トランプ大統領の政策方針が不透明なことに加えて、欧州ではオランダ総選挙やフランス大統領選挙等を控えていることから、当面は変動の大きい相場展開が続く見込みです。スプレッドは過去に比べると低水準にありますが、先進国債券に比べて高い利回り水準にあるアジア・ハイ・イールド債市場への旺盛な資金流入によって需給が悪化する懸念は小さいと考えます。ユーロ圏や日本等の金融緩和スタンスは当面継続される見込みであり、先進国債券に比べて高い利回り水準にあるアジア・ハイ・イールド債市場への旺盛な投資需要は今後も続くとの見方を継続します。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第58期～第63期		項目の概要
	(2016年8月11日～2017年2月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	32円	0.500%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は6,466円です。
(投信会社)	(12)	(0.190)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(19)	(0.294)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	32	0.500	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

■ 売買及び取引の状況

○ 投資信託証券

(2016年8月11日から2017年2月10日まで)

		第 58 期 ~ 第 63 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund III	千口 —	千円 —	千口 368.742 (—)	千円 108,000 (—)
	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund IV	—	—	301.021 (—)	127,000 (—)

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況 (2016年8月11日から2017年2月10日まで)

当ファンドにおける第58期～第63期中の利害関係人との取引はございません。

■ 組入資産の明細

○ 投資信託証券 (邦貨建)

(2017年2月10日現在)

銘 柄	期首(第57期末)		第 63 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund III	千口 2,173.434	千口 1,804.693	千円 531,733	% 48.3
NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund IV	1,534.486	1,233.465	531,761	48.3
合 計	口 数、金額 3,707.921	3,038.159	1,063,494	—
	銘 柄 数 <比率> 2銘柄<98.5%>	2銘柄<96.6%>	—	—

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2017年2月10日現在)

項 目	第 63 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 証 券	千円 1,063,494	% 95.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	52,170	4.7
投 資 信 託 財 産 総 額	1,115,665	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年9月12日現在) (2016年10月11日現在) (2016年11月10日現在) (2016年12月12日現在) (2017年1月10日現在) (2017年2月10日現在)

項目	第58期末	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末
a 資産	1,272,435,725円	1,258,794,662円	1,192,103,821円	1,230,369,702円	1,132,072,161円	1,115,665,546円
コール・ローン等	48,063,169	40,004,031	67,871,828	69,104,408	35,754,279	52,170,548
投資信託証券(評価額)	1,207,372,556	1,218,790,631	1,124,231,993	1,161,265,294	1,096,317,882	1,063,494,998
未収入金	17,000,000	—	—	—	—	—
b 負債	27,770,058	18,821,336	31,198,917	33,859,127	22,741,413	14,829,153
未払収益分配金	15,877,081	15,632,552	14,752,609	14,377,082	13,293,341	13,308,419
未払解約金	10,751,362	2,211,282	15,461,828	18,448,569	8,547,654	597,081
未払信託報酬	1,139,150	975,140	982,104	1,031,245	898,079	921,264
その他未払費用	2,465	2,362	2,376	2,231	2,339	2,389
c 純資産総額(a-b)	1,244,665,667	1,239,973,326	1,160,904,904	1,196,510,575	1,109,330,748	1,100,836,393
元本	1,984,635,152	1,954,069,011	1,844,076,239	1,797,135,350	1,661,667,730	1,663,552,498
次期繰越損益金	△ 739,969,485	△ 714,095,685	△ 683,171,335	△ 600,624,775	△ 552,336,982	△ 562,716,105
d 受益権総口数	1,984,635,152口	1,954,069,011口	1,844,076,239口	1,797,135,350口	1,661,667,730口	1,663,552,498口
1口当たり基準価額(c/d)	6,272円	6,346円	6,295円	6,658円	6,676円	6,617円

(注1) 期末における1口当たりの純資産総額

第58期0.6272円、第59期0.6346円、第60期0.6295円、第61期0.6658円、第62期0.6676円、第63期0.6617円

(注2) 期末における元本の欠損金額

第58期739,969,485円、第59期714,095,685円、第60期683,171,335円、第61期600,624,775円、第62期552,336,982円、第63期562,716,105円

■損益の状況

自2016年8月11日 自2016年9月13日 自2016年10月12日 自2016年11月11日 自2016年12月13日 自2017年1月11日
至2016年9月12日 至2016年10月11日 至2016年11月10日 至2016年12月12日 至2017年1月10日 至2017年2月10日

項目	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
a 配当等収益	19,683,732円	19,516,485円	16,742,516円	16,418,513円	15,407,868円	15,181,304円
受取配当金	19,686,643	19,518,708	16,745,393	16,421,842	15,410,440	15,183,756
受取利息	20	13	62	72	27	18
支払利息	△ 2,931	△ 2,236	△ 2,939	△ 3,401	△ 2,599	△ 2,470
b 有価証券売買損益	△ 17,967,779	11,505,314	△ 10,589,081	63,557,376	1,491,168	△ 10,454,125
売買益	331,812	11,528,613	281,985	65,031,549	2,426,131	354,405
売買損	△ 18,299,591	△ 23,299	△ 10,871,066	△ 1,474,173	△ 934,963	△ 10,808,530
c 信託報酬等	△ 1,141,615	△ 977,502	△ 984,228	△ 1,033,476	△ 900,418	△ 923,258
d 当期損益金(a+b+c)	574,338	30,044,297	5,169,207	78,942,413	15,998,618	3,803,921
e 前期繰越損益金	△ 724,759,255	△ 726,855,615	△ 658,691,610	△ 642,596,550	△ 532,019,106	△ 514,847,824
f 追加信託差損益金	92,513	△ 1,651,815	△ 14,896,323	△ 22,593,556	△ 23,023,153	△ 38,363,783
(配当等相当額)	(1,054,131,289)	(1,038,717,404)	(986,748,797)	(965,766,993)	(894,139,308)	(903,341,414)
(売買損益相当額)	(△1,054,038,776)	(△1,040,369,219)	(△1,001,645,120)	(△988,360,549)	(△917,162,461)	(△941,705,197)
g 合計(d+e+f)	△ 724,092,404	△ 698,463,133	△ 668,418,726	△ 586,247,693	△ 539,043,641	△ 549,407,686
h 収益分配金	△ 15,877,081	△ 15,632,552	△ 14,752,609	△ 14,377,082	△ 13,293,341	△ 13,308,419
次期繰越損益金(g+h)	△ 739,969,485	△ 714,095,685	△ 683,171,335	△ 600,624,775	△ 552,336,982	△ 562,716,105
追加信託差損益金	92,513	△ 1,651,815	△ 14,896,323	△ 22,593,556	△ 23,023,153	△ 38,363,783
(配当等相当額)	(1,054,131,289)	(1,038,717,404)	(986,748,797)	(965,766,993)	(894,139,308)	(903,341,414)
(売買損益相当額)	(△1,054,038,776)	(△1,040,369,219)	(△1,001,645,120)	(△988,360,549)	(△917,162,461)	(△941,705,197)
分準備積立金	348,837,626	345,979,096	321,280,799	310,946,291	287,905,574	281,124,737
繰越損益金	△ 1,088,899,624	△ 1,058,422,966	△ 989,555,811	△ 888,977,510	△ 817,219,403	△ 805,477,059

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

注記事項（第58期～第63期）

第58期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	2,014,549,836円
期中追加設定元本額	4,798,986円
期中一部解約元本額	34,713,670円

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、経費控除後の配当等収益（18,542,117円）、収益調整金（1,054,131,289円）及び分配準備積立金（346,172,590円）を対象収益（1,418,845,996円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から15,877,081円（1万円当たり80円）を分配に充てることに決定しました。

第59期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	1,984,635,152円
期中追加設定元本額	4,737,755円
期中一部解約元本額	35,303,896円

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、経費控除後の配当等収益（18,901,538円）、収益調整金（1,038,717,404円）及び分配準備積立金（342,710,110円）を対象収益（1,400,329,052円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から15,632,552円（1万円当たり80円）を分配に充てることに決定しました。

第60期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	1,954,069,011円
期中追加設定元本額	38,215,206円
期中一部解約元本額	148,207,978円

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、経費控除後の配当等収益（15,758,288円）、収益調整金（986,748,797円）及び分配準備積立金（320,275,120円）を対象収益（1,322,782,205円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から14,752,609円（1万円当たり80円）を分配に充てることに決定しました。

第61期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	1,844,076,239円
期中追加設定元本額	24,092,383円
期中一部解約元本額	71,033,272円

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、経費控除後の配当等収益（16,206,340円）、収益調整金（965,766,993円）及び分配準備積立金（309,117,033円）を対象収益（1,291,090,366円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から14,377,082円（1万円当たり80円）を分配に充てることに決定しました。

第62期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	1,797,135,350円
期中追加設定元本額	7,005,409円
期中一部解約元本額	142,473,029円

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、経費控除後の配当等収益（14,586,867円）、収益調整金（894,139,308円）及び分配準備積立金（286,612,048円）を対象収益（1,195,338,223円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から13,293,341円（1万円当たり80円）を分配に充てることに決定しました。

第63期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	1,661,667,730円
期中追加設定元本額	47,156,636円
期中一部解約元本額	45,271,868円

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、経費控除後の配当等収益（14,258,046円）、収益調整金（903,341,414円）及び分配準備積立金（280,175,110円）を対象収益（1,197,774,570円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から13,308,419円（1万円当たり80円）を分配に充てることに決定しました。

■ 分配金のお知らせ

	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
1万口当たり分配金（税引前）	80円	80円	80円	80円	80円	80円

< 分配金をお支払いする場合 >

- ・ 分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

< 分配金を再投資する場合 >

- ・ お手取り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

< 課税上の取扱いについて >

- ・ 分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・ 分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・ 分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・ 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・ 個人の受益者に対する課税
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

<参考情報>組入れ投資信託証券の内容

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	<p>■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3） （Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AMアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3））</p> <p>■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4） （Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AMアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4））</p>	
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）	
運用の基本方針	<p>①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。</p> <p>②原則として以下の通貨で為替取引（対米ドル等）を行います。</p>	
	高金利通貨 アジア・オセアニア	クラス3 クラス4
主な投資制限	<p>①有価証券の空売りは行いません。</p> <p>②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</p> <p>③投資信託証券への投資は行いません。</p>	
決算日	毎年12月31日	
信託報酬等	<p>純資産総額に対して年率0.77%</p> <p>※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。</p> <p>※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等（監査費用、弁護士費用等）、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。</p>	
申込・解約手数料	ありません。	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド	

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

■包括利益計算書

(2015年1月1日から2015年12月31日まで)
アメリカドル

収益	
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	△ 27,863,731
為替差損	△ 422,642
その他収益	232,544
収益合計	△ 28,053,829
費用	
投資運用報酬	△ 4,350,383
管理報酬	△ 271,878
監査報酬	△ 56,291
保管報酬	△ 101,204
名義書換費用	△ 25,281
取引費用	△ 18,993
受託者報酬	△ 103,126
その他営業費用	△ 16,234
営業費用合計	△ 4,943,390
税引前・分配前利益 (損失)	△ 32,997,219
税金	—
税引後・分配前利益 (損失)	△ 32,997,219
分配金	△249,898,635
税引後・分配後損失	△282,895,854
営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	△282,895,854

投資信託証券「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表の一部を委託会社にて抜粋・翻訳したものです。

■組入上位銘柄

(2015年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
Sunac China Hldg 12.5 16/10/17	中国	12.500%	2017/10/16	2.48%
Agile Property 9.875 20/03/17	中国	9.875%	2017/03/20	2.40%
Petron Corp 7.5% Var Perp Regs	フィリピン	7.500%	2049/02/06	2.25%
Shimao Property Hldgs 8.375% 1	香港	8.375%	2022/02/10	2.20%
Moon Wise Gbl 9% Var Perp Usd	中国	9.000%	2049/01/29	1.89%
Road King Infra 9.875 18/09/17	香港	9.875%	2017/09/18	1.81%
China Sce Proper 11.5 14/11/17	中国	11.500%	2017/11/14	1.80%
Lenovo Grp 4.7% 08/05/19 Usd	中国	4.700%	2019/05/08	1.69%
Yanlord Land Grp 10.625 29/03/	シンガポール	10.625%	2018/03/29	1.67%
Chong Hing Bank 6.5% Var Perp	中国	6.500%	2049/09/29	1.53%

「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。